

### 吉田建設株式会社

- 担 当 者 取締役部長 川上啓志様
- 発注機関 鳥取県 鳥取県土整備事務所

**約53時間の削減! 紛失の防止!**  
**全員で工事情報の共有ができ、現場の困りごとをいち早くフォロー。**



#### 導入前の課題

今まで書類のやりとりを行う為に、発注事務所まで届けに行っていた。

#### 解決方法

情報共有システムを利用することで工事帳票を簡単作成・提出・回覧までスムーズに

#### 効 果

削減できた時間を現場管理に費やすことが出来た

### 移動時間の削減により現場管理の充実

今までは紙で書類のやりとりを行っていた際は、現場事務所で作成した書類を発注事務所まで持って行く時間が発生していました。しかし、情報共有システムを利用することで書類のやりとりがインターネット上で出来ることにより、この時間を大幅に削減することができました。

実際に今までの現場でどれくらいの時間をその移動の時間に割いていたかという、事務所まで往復する時間が30分、書類を説明する打合せ時間が10分で計40分が1度にかかります。これを協議・指示・報告・提出・承諾・立会書類等で80回行ったとすると総計3200分。約53時間の削減が出来ていることになります。

その分を現場管理(地元調整や現場出来形/写真/品質管理、工程見直し、原価管理、安全管理)時間を費やすことができました。



### 工事状況の共有によって現場のフォロー体制と若手育成につながる

書類のやりとりに関しては、まずは電子上で行う為今まで紙の書類だと発生していた紛失がなくなった上、書類が誰まで回覧されているのかを一目で確認できます。受注者は書類を自分の都合に合わせてクラウドサーバー上で発議が出来るし、発注者も打合せの合間をぬった時間に書類の決裁を行うことが出来るといったようにお互いの時間の有効活用に使えます。

また、各工事に現場担当者だけでなく社内の人間も登録できるため、社内で工事情報の共有ができ、現場の困りごとをいち早くフォローすることが出来ました。

そして、そういった電子データを社内技術者が今後共有していけば、若手技術者の未経験の工事の要所を施工以前から見つけることができ、手戻り・現場中止等のロスがなくなります。その上、協議書作成スキルも全体的に向上していくことも期待できます。



## 導入事例集

 **GenbaSupport**  
株式会社現場サポート

<http://www.genbasupport.com>

本社: 〒890-0045 鹿児島市武1丁目35-4  
TEL.099-251-9971 FAX.099-259-3874

福岡オフィス  
〒812-0054 福岡市東区馬出1丁目13-9 D-1ビル201号

## 株式会社中野建設

●担 当 者 船津様 吉森様

## 初めてでも簡単操作で効率アップ



## 導入前の課題

今まで利用した事が無かったので、業務効率化されるか不安だった

## 解決方法

初期導入や運用の変更も丁寧なサポート対応

## 効 果

スピーディーな状況確認・対応につながった

社内では国土交通省の工事などで利用しており、情報共有システムのことは知っていましたが、自身ではこれまで利用経験が無かったので実際にどのようなことができるのか、期待と不安の両方がありました。特に初めての運用なので、うまく活用できるか不安でした。

また、これまでCADデータ等の大容量データのやり取りにCD-Rを用いていましたが、今回利用するにあたって、大容量データの受け渡しなどの省力化に期待していました。

利用開始直後は基本操作の点で何をどうしたら不明でしたので、サポートセンターへの問い合わせを行いました。丁寧な説明を受けすぐに解決できました。

## 情報共有システムへの期待と不安



## 情報共有システムの活用メリットと今後への期待

活用が始まれば、主に打合せ簿関係での活用が多かったです。データ作成後紙に印刷する手間や書類を持参する手間が減りました。また監督職員の在席を気にせずに送れる点が業務効率化につながったと思います。さらに、どの段階まで回覧承認されているのが確認できるのも便利でした。

ペーパーレス化による経費削減や労力の負担減少は勿論、パソコン内での処理・閲覧が可能になり、紙による煩雑さがなくなったのが良かったです。また電子データなので、パソコンだけで検査を受検でき、プロジェクターを活用することで検査立ち合い者全員が書類の内容を閲覧できたのも良かったです。週間工程表や立会願も従来の紙やメールではなく、個人フォルダ機能を活用しましたが、工事に関するデータが情報共有システム内で一元管理できているのが、非常に良かったと思います。

他にも個人フォルダ機能では、大雨などの災害状況などを写真付きで報告する際に活用しました。写真付きなので監督職員がすぐに現場に来られない場合でも、現場の把握ができ、判断材料にもなったと思います。

今後は上述以外にも、スケジュール機能を活用して、立会のための受発注者間のスケジュール調整に活用できればいいと思います。



## 都城志布志道路安全協議会

●担 当 者 株式会社山本組 牧之瀬様  
●発注機関 鹿児島県 大隅地域振興局

## 安全協議会内でのスムーズな情報伝達！



## 導入前の課題

メールでやり取りをすると全員に伝わるまで多大な時間がかかっていた。

## 解決方法

掲示板を利用して情報共有の迅速化

## 効 果

施工会社同士の情報の共有が円滑になった！

掲示板を利用して  
協議会での連絡事項一斉回覧！！

この安全協議会では、常時30～40社の施工会社が参加しています。これまで、参加中の協議会社への連絡はメールでやり取りしていました。メールだと一方的な連絡になってしまい、相手に伝わっているのか分からず、都度電話連絡で確認する等、多大な時間がかかっていた。

掲示板を活用するようになってからは、瞬時に全ての関係会社へ一斉連絡ができるようになり、連絡事項がスムーズに伝えられるようになりました。また、相手の都合を気にすることなく、合間の時間で自分の都合でやり取りできる点もいいですね。また、リアクション機能を利用する事で、情報の確認の有無がわかるようになって、迅速な情報の伝達ができるようになりました。



## 重要事項の共有で問題の未然防止へ！

現場で何か問題があった際には、すぐにこの掲示板にあげ、全員で共有しています。住民からの声や災害時の対応など、即座に共有したい事項もここに掲載すると一斉に確認でき、迅速な対応が可能になりました。これまでは連絡事項も個別に問合せがあり、都度対応してましたが掲示板でやるようになって問合せ内容も共有できています。

他にも過去に共有した様々なやり取りは掲示板機能の中に記録として残っているため、新しく安全協議会に参加した会社や担当者が変更になった場合も、一から説明することなくうまく引継ぎが行われています。もう紙やメールでやり取りしたくないですね。情報共有システムのおかげで業務を効率化できました。今後は、協議会内での議事録や写真等、ファイル共有にも活用していきたいと思っています。

